ボーリング柱状図

調　査　名　第二種漁港 沖浦漁港水産物供給基盤機能保全事業に伴う業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No．2	調査位置	広島県豊田郡大崎上島町明石地内			北緯	34° 12’ 19.54″
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	平成 30年 2月 1日 ～ 30年 2月 8日	東経	132° 52’ 30.44″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	4.75m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 90° 0°	使用機種	試錐機	D1-B（東邦地下）	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	13.00m								エンジン	NFD-13（ヤンマー）	ポンプ	BG-3C（東邦地下）

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1																							2/2
2																							
3																							
4																							2/3
5																							
6	-1.45	6.20	6.20		コンクリート	灰			本体工のコンクリート 最大コア長L=1mで採取される 亀裂や劣化は少なく，概ね健全														2/4
7																							
8																							2/5
9	-4.95	3.50	9.70		捨石	黒灰，乳白			本体工直下の捨石 コア長L=10cm程度の棒状コアで採取される 礫種は花崗岩，流紋岩及び古生層（粘板岩），岩質は堅硬緻密 礫間は一部粗砂で充填される														2/6
10											10.20	30	20/4		50/14	107.							2/7
11											10.34 / 11.05	50/8			50/8	87.5							
12					強風化花崗岩	褐		極密	花崗岩の強風化帯 芯部まで風化が進み土砂化が著しい， 岩構造を明瞭に残すも，指圧で容易に圧砕される DH級，軟岩に区分		11.13 / 12.05	50/7			50/7	14.3							
13	-8.25	3.30	13.00								12.12 / 13.00 / 13.05	50/5			50/5	100.0							2/8